

健康栄養学部1年生

カリキュラム オリエンテーション

BUNKYO UNIVERSITY

大学での履修のしくみについて説明します。みなさんが大学で学び、単位を修得していくための基本となる内容ですので、必ず確認してください。

※『履修のてびき』と『2020年度時間割（以降“時間割冊子”）』の2冊を手元に準備してください。なお、『時間割冊子』は各学年に毎年配布しますが、『履修のてびき』は入学時に配布されたものを4年間使用します。紛失しないよう注意してください。

スケジュールの変更について

説明の前に、、、

以下の日程を必ず確認してください

①オリエンテーション日程

②履修登録日程

③授業日程

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、元々予定していたスケジュールがすべて変更されています。
- 今後の変更などは、ホームページや、大学で付与したGmailアドレス宛のメール、大学のポータルサイト「B!bb's」等で連絡しますので、こまめに確認してください。

大学の授業とは①

1. **自分で** 時間割を作成
2. 大学(教育支援課)に時間割を登録 = **履修登録**
3. 授業を受けて内容を理解する・課題を提出する
4. 試験を受ける
5. 成績を確認する

【授業を受けるにあたっての流れ】

●1.自分で時間割を作成

大学の授業が高校の授業と大きく異なる点は、自分の時間割は自分自身で組み立てるという点です。皆さんの興味・関心、大学で定めたルールに合わせて、受講する科目を自分で選び、時間割を組み立てていかなければなりません。

●2.大学(教育支援課)に時間割を登録＝履修登録

各自組み立てた時間割は大学に届け出る必要があります。パソコンを使って、受講したい、履修したい科目を登録します。この登録手続きを「履修登録」と呼びます。

●3.授業を受けて内容を理解する・課題を提出する

履修登録が完了したら、登録した時間割に沿って授業科目を受講します。健康栄養学部の場合、1年生から管理栄養士国家試験に直結する内容を学びます。国家試験を見据えて、1年生のうちから授業内容を理解することを心がけてください。

●4.試験を受ける

学期末の定期試験期間には、筆記試験やレポートの提出があります。試験の方法については、教育支援課ホームページや授業内で提示されますので、必ず事前に確認して試験に臨んでください。

●5.成績を確認する

試験結果などを元に先生方が成績評価を行います。成績発表の際に一定以上の評価がされていれば、その科目の単位を修得できたことになります。成績発表日に B!bb's! にアップされますので、自身で成績および単位が修得できたか確認してください。

大学の授業とは②

学部のカリキュラムに合わせて授業科目を選択・履修し、卒業に必要な単位を修得します

- 履修登録をしないと、授業を受けても単位を修得できません
- 出席日数が基準に満たない場合・課題を提出しない場合は、試験を受ける資格を失います
- 出席回数や課題の提出が基準を満たしていても、試験の成績が悪い場合は単位を修得できません

【履修上の注意点】

- 履修登録を行わないと、授業を受けても成績評価がされないため、単位を修得できません。また、学期当初に履修登録を行わず、授業などに出席している様子が見られないと、状況によっては除籍とされる可能性があります。

除籍＝大学が強制的に学籍を抹消すること

- 出席日数や課題の提出状況が一定の基準に満たない場合は、試験を受ける資格そのものを失います。出席については、**該当する科目の総授業回数の3分の2以上の出席**を最低条件としています。
※詳しくは『履修のてびき』14ページ「試験について」を確認してください。

- 出席回数や課題の提出状況が一定の基準を満たしていたとしても、試験の成績が悪い場合は、単位を修得できないことがあります。健康栄養学部は、管理栄養士免許の取得を目的としている学部です。高校までと同様あるいはそれ以上に、受け身ではなく自ら学んでいくことが重要です。

※「単位」についての説明は『履修のてびき』のP.10で確認してください。

セメスター制度について

『履修のてびき』
P. 11

- 1年間を春学期・秋学期に分け、各学期ごとに授業科目を完結する制度。

1年次の春学期 → 1セメスター

1年次の秋学期 → 2セメスター

・

・

・

4年次の秋学期 → 8セメスター

文教大学では「セメスター制度」を採用しており、1年間を春と秋の2学期に分け、1年生の春学期を“1セメスター”とし、4年生の秋学期を“8セメスター”と表現します。

卒業に必要な単位数

『履修のてびき』
P.58

卒業するためには4年以上在学し、下記の単位修得が必要

- 教養教育科目 16単位
- 専門教育科目 114単位



合計 130単位

ただし、単純に130単位修得すれば良いわけではない！！

- 4年間以上在学し、必要な単位数を満たすことで、卒業することができます。
健康栄養学部では総修得単位数が130単位以上であることのほか、
各区分で指定された単位数を満たしていることが卒業の必須条件となります。
 - ただ単純に130単位修得すれば卒業できるわけではありませんので、
どの区分でそれぞれどれだけの単位数が必要か確認しながら、
修得していくことが大切になります。
- ※健康栄養学部の卒業に必要な単位数の詳細は『履修のてびき』の
P.58を確認してください。

教養教育科目

『履修のてびき』
P. 59, 60

★A群: 一般教養.....4単位

★B群: 専門基礎.....4単位

★C群: 外国語.....4単位(必修2+選択2)

★D群: 体育・情報処理....4単位(必修3+選択1)



合計 16単位

※『履修のてびき』P.59,60では「教養教育科目」について説明しています。

●教養教育科目はA・B・C・Dの4つの群に分かれており、それぞれから4単位ずつ修得しなければなりません。

●A群、B群はそこから自由に4単位を選択して構いませんが、C群、D群では必ず修得が必要な“必修科目”があります。この必修科目に加え、C群では2単位、D群では1単位を選択して修得する必要があります。

※1年次で16単位すべてを履修する必要はありません。

目安として、1年次に12～15単位くらい修得できるように履修計画を立ててみてください。

『履修のてびき』
P.60

区分	科目	単位	開講セメスター								卒業 要件 単位
			1	2	3	4	5	6	7	8	
			1年次		2年次		3年次		4年次		
(A群) 一般教養	音楽	2	○	○							4
	文学	2	○	○							
	個人と社会	2	○								
	生活と広告	2	○								
	法学入門	2		○	○						
	経営学入門	2									
	消費者行動論	2									
	ヒトと動植物	2	○								
	生命倫理	2	○								
	日本国憲法 △	2	○								
(B群) 専門基礎	食生活論	2	○								4
	基礎生物化学	2	○								
教育科目			○								2
	統計学概論	2	○								
	英会話 I ◎△	1	○								
	英会話 II ◎△	1		○							
	英語 I ◎	1	○								
	英語 II ◎	1		○							2
	フランス語 I	1	○								
	フランス語 II	1		○							2
	ドイツ語 I	1	○								
	ドイツ語 II	1		○							2
	中国語 I	1	○								
	中国語 II	1		○							2
	韓国語 I	1	○								
	韓国語 II	1		○							2
	インドネシア語 I	1	○								
	インドネシア語 II	1		○							2
	タイ語 I	1	○								
	タイ語 II	1		○							2
	ベトナム語 I	1	○								
	ベトナム語 II	1		○							2
	ロシア語 I	1	○								
	ロシア語 II	1		○							2
	イタリア語 I	1	○								
	イタリア語 II	1		○							2
	スペイン語 I	1	○								
	スペイン語 II	1		○							2
	ポルトガル語 I	1	○								
	ポルトガル語 II	1		○							2
	オランダ語 I	1	○								
	オランダ語 II	1		○							2
	ハンガリー語 I	1	○								
	ハンガリー語 II	1		○							2
	チェコ語 I	1	○								
	チェコ語 II	1		○							2
	スロバキア語 I	1	○								
	スロバキア語 II	1		○							2
	ルーマニア語 I	1	○								
	ルーマニア語 II	1		○							2
	ギリシア語 I	1	○								
	ギリシア語 II	1		○							2
	トルコ語 I	1	○								
	トルコ語 II	1		○							2
	ユダヤ語 I	1	○								
	ユダヤ語 II	1		○							2
	ヘブライ語 I	1	○								
	ヘブライ語 II	1		○							2
	アラビア語 I	1	○								
	アラビア語 II	1		○							2
	ペルシア語 I	1	○								
	ペルシア語 II	1		○							2
	ウズベク語 I	1	○								
	ウズベク語 II	1		○							2
	タジク語 I	1	○								
	タジク語 II	1		○							2
	キルギス語 I	1	○								
	キルギス語 II	1		○							2
	モルドヴァ語 I	1	○								
	モルドヴァ語 II	1		○							2
	ルーマニア語 III	1	○								
	ルーマニア語 IV	1		○							2
	ブルガリア語 I	1	○								
	ブルガリア語 II	1		○							2
	セルビア語 I	1	○								
	セルビア語 II	1		○							2
	クロアチア語 I	1	○								
	クロアチア語 II	1		○							2
	スロベニア語 I	1	○								
	スロベニア語 II	1		○							2
	マケドニア語 I	1	○								
	マケドニア語 II	1		○							2
	アルバニア語 I	1	○								
	アルバニア語 II	1		○							2
	モンテネグロ語 I	1	○								
	モンテネグロ語 II	1		○							2
	ボスニア語 I	1	○								
	ボスニア語 II	1		○							2
	セルビア語 III	1	○								
	セルビア語 IV	1		○							2
	クロアチア語 III	1	○								
	クロアチア語 IV	1		○							2
	スロベニア語 III	1	○								
	スロベニア語 IV	1		○							2
	マケドニア語 III	1	○								
	マケドニア語 IV	1		○							2
	アルバニア語 III	1	○								
	アルバニア語 IV	1		○							2
	モンテネグロ語 III	1	○								
	モンテネグロ語 IV	1		○							2
	ボスニア語 III	1	○								
	ボスニア語 IV	1		○							2
	セルビア語 V	1	○								
	セルビア語 VI	1		○							2
	クロアチア語 V	1	○								
	クロアチア語 VI	1		○							2
	スロベニア語 V	1	○								
	スロベニア語 VI	1		○							2
	マケドニア語 V	1	○								
	マケドニア語 VI	1		○							2
	アルバニア語 V	1	○								
	アルバニア語 VI	1		○							2
	モンテネグロ語 V	1	○								
	モンテネグロ語 VI	1		○							2
	ボスニア語 V	1	○								
	ボスニア語 VI	1		○							2
	セルビア語 VII	1	○								
	セルビア語 VIII	1		○							2
	クロアチア語 VII	1	○								
	クロアチア語 VIII	1		○							2
	スロベニア語 VII	1	○								
	スロベニア語 VIII	1		○							2
	マケドニア語 VII	1	○								
	マケドニア語 VIII	1		○							2
	アルバニア語 VII	1	○								
	アルバニア語 VIII	1		○							2
	モンテネグロ語 VII	1	○								
	モンテネグロ語 VIII	1		○							2
	ボスニア語 VII	1	○								
	ボスニア語 VIII	1		○							2
	セルビア語 IX	1	○								
	セルビア語 X	1		○							2
	クロアチア語 IX	1	○								
	クロアチア語 X	1		○							2
	スロベニア語 IX	1	○								
	スロベニア語 X	1		○							2
	マケドニア語 IX	1	○								
	マケドニア語 X	1		○							2
	アルバニア語 IX	1	○								
	アルバニア語 X	1		○							2
	モンテネグロ語 IX	1	○								
	モンテネグロ語 X	1		○							2
	ボスニア語 IX	1	○								
	ボスニア語 X	1		○							2
	セルビア語 XI	1	○								
	セルビア語 XII	1		○							2
	クロアチア語 XI	1	○								
	クロアチア語 XII	1		○							2
	スロベニア語 XI	1	○								
	スロベニア語 XII	1		○							2
	マケドニア語 XI	1	○								
	マケドニア語 XII	1		○							2
	アルバニア語 XI	1	○								
	アルバニア語 XII	1		○							2
	モンテネグロ語 XI	1	○								
	モンテネグロ語 XII	1		○							2
	ボスニア語 XI	1	○								
	ボスニア語 XII	1		○							2
	セルビア語 XIII	1	○								
	セルビア語 XIV	1		○							2
	クロアチア語 XIII	1	○								
	クロアチア語 XIV	1		○							2
	スロベニア語 XIII	1	○								
	スロベニア語 XIV	1		○							2
	マケドニア語 XIII	1	○								
	マケ										

『履修のてびき』
P.60

○の付いているセメスターから履修が可能

※○の付いたセメスターだけでしか履修が
できないわけではないではありません！

△は栄養教諭の必須科目

◎が付いているので必修科目

奇数(1・3・5・7)のセメスターだけ○→春学期のみ開講
偶数(2・4・6・8)のセメスターだけ○→秋学期のみ開講
奇数・偶数の両方に○→春学期・秋学期どちらも開講

- 教養教育科目は『履修のてびき』のP.60に科目の一覧表があります。
- **科目名の横に◎のついている科目が必修科目です。**各自で履修漏れのないよう確認してください。1年生の春学期でいうと、開講セメスターの1に○の入っている科目の中で、科目名の横に◎がついているものが必修科目となります。
※C群の「英会話 I」、D群の「スポーツ・健康演習A」、「情報処理A」が該当
- 科目名に△のついた科目は栄養教諭一種免許に必要な科目です。
3年次以降に「栄養教諭コース」(後述)を希望している人は履修してください。
- 開講セメスターの○の意味ですが、そのセメスターにしか履修できないということではなく、「**○のついたセメスターから履修可能**」ということになります。
また、奇数(1・3・5・7)のセメスターにだけ○がついているものは春学期のみ、偶数(2・4・6・8)のセメスターにだけ○がついているものは秋学期のみ開講していることを表しています。奇数・偶数両方に○がついているものは、春学期・秋学期どちらも開講している科目となります。
これらの表の見方をよく理解した上で、登録内容を確認してください。
なお、これらの内容は他の区分の科目も同様です。

【例】

- A群「音楽」 1と2に○ → 1年生の春から履修可 & 春・秋どちらも開講
B群「食生活論」 1のみ○ → 1年生の春から履修可 & 春のみ開講
A群「法学入門」 2と3に○ → 1年生の秋から履修可 & 春・秋どちらも開講

専門教育科目

『履修のてびき』
P.58

- ★ココロを育む科目……………10単位
 - ★カラダを育む科目(必修)……82単位
 - ★カラダを育む科目(選択)
 - ★コース科目
 - ★ゼミナール科目
 - ★キャリアアップ科目……………6単位
- } 16単位

合計 **114単位**

- 専門教育科目は「ココロを育む科目」「カラダを育む科目」「コース科目」「ゼミナール科目」「キャリアアップ科目」に分かれており、区分別に修得が必要な単位数が違ってきます。
- 「ココロを育む科目」では**10単位**の修得が必要です。
- 「カラダを育む科目」は必修科目と選択科目があり、**必修科目は82単位**の修得が必要となります。
- 「カラダを育む科目」の選択科目、「コース科目」、「ゼミナール科目」は**3つの区分の合計で16単位**の修得が必要となります。
- 「キャリアアップ科目」は、その中の**「キャリアアップ演習」の科目で6単位**の修得が必要となります。
- 上記の単位を合計し、専門教育科目では**全部で114単位**の修得が必要ということになります。

ココロを育む科目

『履修のてびき』
P. 61

- 「ココロの面からも対応できる管理栄養士」の養成を目的とした科目

- 10単位の修得が必要

→すべて2単位の科目のため、5科目の修得が必要

注意！

- ◆「コミュニケーション論」「サプリメントと健康」は秋学期の開講に変更となります

- ◆「代替医療論」は今年度非開講となります

※『履修のてびき』P.61では「ココロを育む科目」について説明しています。

- 「ココロを育む科目」では10単位の修得が必要となりますが、いずれの科目も2単位のため、実際には5科目の修得が必要となります。必修科目はありませんので、他の科目と時間割が重複しない限りは自由に選択して構いません。

「ココロを育む科目」を履修する上で注意点が2つあります。

- ◆「コミュニケーション論」「サプリメントと健康」は『履修のてびき』P.61で1セメスターからの開講に○が付いていますが、実際には秋学期の開講に変更となります。

- ◆「代替医療論」は今年度“非開講”であり、開講されません。

※必ずしも1年次で10単位すべてを履修する必要はありません。

目安として、6～10単位くらい修得できるように履修計画を立ててみてください。

カラダを育む科目

『履修のてびき』
P. 62, 63

- 「疾病の予防、早期発見、回復の各観点から高い専門知識を有する管理栄養士」の養成を目的とした科目
- 選択科目(「総合演習Ⅲ」「臨地実習Ⅳ」)を除く、
必修科目52科目・82単位すべての修得が必要
- 「総合演習Ⅱ」「臨地実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」には履修条件があります。
※条件は『履修のてびき』P.73参照

※『履修のてびき』P.62,63では「カラダを育む科目」について説明しています。

- 「カラダを育む科目」では、選択科目の「総合演習Ⅲ」「臨地実習Ⅳ」を除く
52科目82単位が必修科目であり、すべての単位修得が必要です。
- 「総合演習Ⅱ」「臨地実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」には、履修するにあたり、条件があります。**条件を満たしていないと、履修登録ができず、最悪の場合、4年間での卒業ができなくなる場合もあります**ので、必修科目は着実に修得するよう心掛けてください。なお、履修の条件は『履修のてびき』P.73に記載されています。

カラダを育む科目

『履修のてびき』
P. 62, 63

- 1年次の必修科目

春学期: **4科目7単位** 秋学期: **10科目17単位**

→合計: 14科目24単位

- 選択科目(「総合演習Ⅲ」「臨地実習Ⅳ」)の単位は
「コース科目」で必要な16単位の中にカウントされます。

- 1年次の必修科目は、春学期が4科目、秋学期が10科目の計14科目です。
『履修のてびき』P.62,63の表で開講セメスターの1と2に○が付いている科目をよく確認し、取りこぼしの無いようにしてください。
- 選択科目の「総合演習Ⅲ」「臨地実習Ⅳ」で修得した単位は、「コース科目」の単位として卒業に必要な16単位の中にカウントされます。

コース科目

『履修のてびき』
P. 64～66

- 健康栄養学部では3年次から3つのコースに分かれる
 - ☆栄養教諭コース
 - ☆健康栄養コース
 - ☆臨床栄養コース
 } 2年次の10月頃に選択
- 「コース科目」は**16単位**の修得が必要。
(「カラダを育む科目」の選択科目、「ゼミナール科目」で修得した単位も上記の16単位に含まれます)
- 選択していないコースの科目も履修できますが、
卒業に必要な単位としてはカウントされません。

※『履修のてびき』P.64～66では「コース科目」について説明しています。

- 健康栄養学部では3年次から「栄養教諭コース」「健康栄養コース」「臨床栄養コース」の3コースに分かれることになります。
コースの選択は2年次の10月頃に行います。
- コース別の科目は16単位の修得が必要となります。なお、前述の「カラダを育む科目」の選択科目、後述の「ゼミナール科目」で修得した単位も、この16単位の中に含まれます。
- 選択していない他のコースの科目も履修することはできますが、卒業に必要な16単位にはカウントされませんので、注意してください。

ゼミナール科目

『履修のてびき』
P.67 ①

3年次「健康栄養演習」 4年次「卒業研究」

- 複数の教員がそれぞれの専門分野で研究テーマを設定
- 春学期と秋学期の1年間を通して開講
- 選択科目（必修ではありません）
- 例年2月に授業の概要と研究テーマの説明会を実施
- 「卒業研究」には履修条件があります（『履修のてびき』P.73参照）
- 修得した単位は「コース科目」で必要な16単位にカウントされます

※詳しくは『履修のてびき』P.67の「①ゼミナール」を確認してください

- ゼミナール科目として、3年次に「健康栄養演習」、4年次に「卒業研究」を開講しています。複数の担当教員がそれぞれの専門分野で研究テーマを設定していますので、自分の興味・関心があるテーマを履修してください。
- ゼミナール科目は春学期と秋学期を連続して1年間開講される、通年科目です。
- 選択科目ですので、必修ではありません。
- 例年2月に、各教員の授業概要と研究テーマの説明会を実施しています。その説明を聞いた上で履修する科目の担当教員を決めてください。
- 「卒業研究」には履修する上で条件があります。詳しくは『履修のてびき』P.73を確認してください。
- 修得した単位は「コース科目」で必要な16単位の中にカウントされます。

キャリアアップ科目

『履修のてびき』
P.67 ②

- 管理栄養士に求められる高い専門知識と技能を身に着けるための科目
- 「キャリアアップ演習A」～「キャリアアップ演習F」までの全6科目で、**すべて必修科目**
- 1年次春学期に「キャリアアップ演習A」を開講

※詳しくは『履修のてびき』P.67の「②キャリアアップ演習」を確認してください

- 「キャリアアップ科目」は、「キャリアアップ演習A」～「キャリアアップ演習F」までの全部で6科目あり、**すべて必修科目**となっています。
- 1年生の春学期(1セメスター)から、初年次の導入科目として、「キャリアアップ演習A」が開講されます。なお、「キャリアアップ演習B」以降は3年次からの開講となります。

教職科目

『履修のてびき』
P.67 ③

「教育原理」「教職概論」「教育心理学」
「特別支援教育概論」「道徳教育・特別活動」
「総合的な学習の時間の指導法」の6科目10単位

- 栄養教諭一種免許を修得するため科目
- 上記の6科目を栄養教諭コースの科目に加えて修得
- 卒業に必要な単位にはカウントされません

※詳しくは『履修のてびき』P.67の「③教職科目」を確認してください

- 教職科目は「教育原理」「教職概論」「教育心理学」「特別支援教育概論」「道徳教育・特別活動」「総合的な学習の時間の指導法」の全6科目です。
- 栄養教諭一種免許を修得するためには、栄養教諭コースに所属し、コースの科目に加え、上記の6科目を修得しなければなりません。
- 卒業に必要な単位にはカウントされません。そのため、栄養教諭を目指す人は卒業に必要な130単位とは別に教職科目の10単位を履修し、**合計140単位**を修得することになります。修得しなければならない単位数が通常よりも多くなりますので、その点をよく考慮して履修してください。

取得できる資格

『履修のてびき』
P. 68, 69

①栄養士資格

学科の課程を卒業することで資格を取得

②管理栄養士資格

学科の課程を卒業することで、管理栄養士国家試験の
受験資格を取得(国家試験合格で資格取得)

※資格取得に必要な科目については、『履修のてびき』P.68～71を参照

①栄養士資格

管理栄養学科の卒業に必要な科目を修得し、卒業することで資格を
取得することができます。

②管理栄養士資格

卒業に必要な科目を修得し、卒業することで、管理栄養士国家試験の
受験資格を得ることができます。栄養士資格とは違い、管理栄養士資格を
取得するには、卒業年度の3月に行われる国家試験を受験し、合格しなければ
なりません。

取得できる資格

『履修のてびき』
P.70 ③

③栄養教諭一種免許

【取得条件】

- 栄養教諭コースに所属する
- 卒業に必要な130単位を修得
- **栄養教諭一種免許の必修科目をすべて修得**
(『履修のてびき』の科目表で△の付いた科目)

※免許の取得には別途費用が必要です。

※『履修のてびき』P.204からの健康栄養学部教職課程についての説明も確認してください。

③栄養教諭一種免許

取得するためには以下の条件を満たす必要があります。

【取得条件】

- 3年次以降、栄養教諭コースに所属する
- 卒業に必要な130単位を修得
- **栄養教諭一種免許の必修科目をすべて修得**

『履修のてびき』内の科目表で科目名の横に△の付いた科目が「栄養教諭一種免許必修科目」です。

※栄養教諭一種免許の取得には、教職課程履修費と教育実習費の別途納入が必要です。

※栄養教諭を目指す人は、『履修のてびき』P.204からの健康栄養学部教職課程についての説明も必ず確認してください。

取得できる資格

『履修のてびき』
P.70 ④

④食品衛生管理者および食品衛生監視員の任用資格

「カラダを育む科目」の必修科目39単位
(『履修のてびき』P.70参照)

+

「基礎生物化学」の修得が必要

※取得を目指す人は「基礎生物化学」を忘れずに
履修しましょう。

④食品衛生管理者および食品衛生監視員の任用資格

「食品衛生管理者および食品衛生監視員」は食品衛生法に定められた国家資格です。

「カラダを育む科目」の必修科目39単位(『履修のてびき』P.70参照)に加えて
「基礎生物化学」を修得することが条件となります。

必修科目は卒業する上で必ず修得することになりますので、
取得を目指す人は「基礎生物化学」を忘れずに履修してください。

取得できる資格

『履修のてびき』
P.71

⑤フードスペシャリスト資格

- ★フードスペシャリスト資格
- ★専門フードスペシャリスト(食品開発)資格
- ★専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格

【取得条件】

- 規定科目(『履修のてびき』P.71参照)を修得すること
- 3年次、4年次の12月に行われる認定試験に合格すること

※別途費用が必要

⑤フードスペシャリスト資格

フードスペシャリストは食に関する総合的・体系的な知識・技術を身につけ、豊かで安全かつバランスのとれた食を提供するための民間資格です。

資格には以下の3種類があります。

- ★フードスペシャリスト資格
- ★専門フードスペシャリスト(食品開発)資格
- ★専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格

取得するためには規定科目の単位をすべて修得した上で、認定試験に合格しなければなりません。

また、この資格取得にあたっては別途費用が必要となります。
詳しくは『履修のてびき』P.71を参照してください。

履修登録

- 春学期・秋学期の科目を春に登録します
- 登録は「B!bb's(ビブス)」を使用します
- 春学期・秋学期合わせて**1年間に48単位まで**履修できます
※教職科目は48単位に含まれません
- 同一名称の科目の重複履修はできません
- 一度単位を修得した科目の再履修はできません

【時間割の作成・履修登録の方法】

- 健康栄養学部の学生は、春の履修登録期間に、春学期と秋学期の1年分の時間割を作成し、履修登録を行う必要があります。
他の学部とは別の動きをしますので、間違いのないように注意してください。
なお、秋学期の開始前にも履修を修正する期間が設けられています。
- 履修登録には、「B!bb's」と呼ばれるポータルサイトを利用します。
- 履修登録できる単位数には制限があります。
健康栄養学部・・・**春学期と秋学期で合わせて1年間に48単位まで**
※教職科目の「教育原理」「教職概論」「教育心理学」「特別支援教育概論」「道徳教育・特別活動」「総合的な学習の時間の指導法」の6科目は制限の48単位にはカウントされません。
- 同じ名前の科目を重複しての履修はできません。
例：『時間割冊子』P.83 1年生春学期の「情報処理A」
この科目は1週間に3コマ授業が開講されていますが、履修登録できるのは1コマだけです。「情報処理A」はすべて太田先生が担当されていますが、担当する先生が異なっても同様です。
- 一度単位を修得した科目の再履修はできません。
例：「情報処理A」の単位を一度修得したら、次年度以降に再度「情報処理A」を履修することはできません。

時間割の作成

- 教育支援課ホームページで時間割の変更を確認してください
- 必修科目を優先して履修してください
- 必修科目はあらかじめクラスが指定されています
指定クラス以外での履修は認めません
3クラス合同で行う科目もあります(合併授業)
- 履修する順番が決められている科目があります
(例)「英語Ⅰ」⇒「英語Ⅱ」
- なるべくパソコンから登録してください。
スマートフォン、タブレット端末は動作が保証されていません

【時間割作成のポイント】

- 皆さんに配布している『時間割冊子』の内容は、一部変更されることがあります。
その場合、教育支援課ホームページで変更をお知らせしています。時間割を作成する際は、教育支援課ホームページで時間割が変更されていないか必ず確認してください。
- 時間割を作成するときは、必修科目を優先して時間割を組み立ててください。
健康栄養学部のカリキュラムには必修科目と選択科目がありますが、このうち必修科目については、1単位でも不足があると卒業できません。
- 必修科目はあらかじめクラスが指定されています。健康栄養学部の場合、1・2年生は皆さんの所属するA・B・Cのクラスに分かれて授業を受けることになります。指定クラス以外での履修は認められませんので、もし、自分のクラスの必修科目と同じ時間に、履修したい選択科目が設定されている場合、選択科目は2年次以降に履修してください。なお、3クラス合同で行う「合併授業」の科目もあります。
- 履修する順番が決められている科目があります。基本的に、ローマ数字のⅠ・Ⅱが名前についている科目は、Ⅰの単位を修得してからⅡを履修することになります。Ⅰの単位を修得できていないと、Ⅱの科目を履修できません。
- 時間割が完成したら、B!bb'sを利用して履修登録を行いますが、なるべくパソコンから登録してください。スマートフォンやタブレット端末からもB!bb'sを見ることはできますが、履修登録した内容が反映されない場合があります。

クラス分けについて

学籍番号	クラス	担任教員
C0N11001～C0N11036	1Aクラス	伊澤 正利
C0N11037～C0N11071	1Bクラス	笠岡 誠一
C0N11072～C0N11106	1Cクラス	杉野 嘉津枝

学籍番号	英会話クラス
C0N11001～C0N11018	1A前半
C0N11019～C0N11036	1A後半
C0N11037～C0N11053	1B前半
C0N11054～C0N11071	1B後半
C0N11072～C0N11089	1C前半
C0N11090～C0N11106	1C後半

- クラス分けについては上の青い表で確認してください。
学籍番号順で3クラスに分かれています。また、各クラスにはそれぞれ担任教員が設定されています。
- 教養教育科目・C群の「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」では、
3クラスをさらに前半・後半で分け、6クラスで授業を行います。
クラス分けについては、下のオレンジの表を確認してください。

履修登録【定員が設定されていない科目】

『時間割』巻末
P.8

- 抽選登録科目以外の全ての科目が対象です
(時間割冊子で定員欄に数字の入っていない科目)
- 必修科目の一部は事前登録されていますが、
登録漏れがないか必ず確認してください
- 事前に登録されている必修科目を削除しないでください
- 履修登録期間中は、何度でも科目の修正が可能です

履修登録には2種類の方法があります。ひとつは通常の「履修登録」。
もうひとつは「抽選登録」と呼ばれる方法です。

【通常の「履修登録」について】

- 時間割冊子の科目名の左にある「定員」の欄に数字が入っていない科目は、
通常の「履修登録」の対象です。
- 必修科目は、皆さんのクラスに合わせて事前に科目が登録されていますが、
登録に漏れや間違いが無い、自分の学年・学期に指定されている
必修科目がきちんと登録されているか、必ず自分の目で確実に
確認してください。もし、登録漏れがあった場合は、時間割冊子で
自分のクラスの授業の曜日・時限を確認して登録してください。
- 事前に登録されている必修科目を削除しないように注意してください。
万が一削除してしまった場合は、再度自分で登録し直してください。
- 履修登録期間中であれば、何度でも科目の登録や取消が可能です。

抽選登録【定員が設定されている科目】

『時間割』巻末
P. 4

- 時間割冊子で定員欄に数字の入っている科目が対象
- 登録者が定員を超えた場合は抽選で履修者を決定します
- 1年生で履修可能な抽選登録科目は以下の5科目
「栄養情報」「英語Ⅰ」「中国語Ⅰ」「フランス語Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」
※「栄養情報」は秋学期の科目ですが、春学期に登録が必要
- 抽選登録で当選した科目は、いかなる理由があっても
履修の取り消しはできません

【「抽選登録」について】

- 「抽選登録」は、授業の定員が決まっている科目について、抽選で履修者を決定するしくみです。時間割冊子の「定員」欄に数字が入っている科目が、抽選登録の対象となります。
- 抽選登録の科目は定員が決められており、登録した人数が定員を超えた場合は抽選を行います。なお、抽選に落選しても次の年度に再度登録することは可能です。
- 健康栄養学部1年生での抽選登録科目は、教養教育科目・B群の「栄養情報」、C群の「英語Ⅰ」「中国語Ⅰ」「フランス語Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」の5科目です。なお、秋学期に開講される「栄養情報」についても、春学期の履修登録期間に抽選登録を行ってください。
- 抽選登録で当選した科目は、いかなる理由があっても履修の取消ができません。
当選した抽選登録の科目を取消して別の科目を登録したいという希望には対応できませんのでよく考えて登録してください。

履修登録・抽選登録日程

履修登録

抽選登録

履修登録

抽選登録

履修登録

履修登録・抽選登録の
日程は現在調整中です。
日程が決まり次第
改めてお知らせします。

●相談は教育支援課の窓口へ！（電話はNG）

履修登録・抽選登録の日程は調整中ですので、決まり次第改めてお知らせします。

※『時間割冊子』のp.11に日程が記載されていますが、これは変更前の日程です。
実際には日程が異なりますので、ホームページなどの情報を随時確認してください。

時間割の確認

- 抽選登録結果の発表後、決定した時間割を確認してください
- 確定した時間割は、**必ず印刷して保存してください**

- 抽選登録の結果が出たら、必ず確認してください。
- 時間割が確定したら、かならずB!bb'sの画面を印刷して保存してください。

試験

『履修のてびき』
P. 14

定期試験	筆記試験・レポート・実技試験など 定期試験期間に実施 定期試験時間割・レポート論題等は1週間前に発表
追試験	正当な理由で定期試験を欠席した場合に受験可能 教育支援課での手続き、証明書(診断書等)提出が必要

【追試験受験が認められる場合】

忌引き、病気、災害、交通機関の不通、就職試験、
学外実習、裁判員制度

※『履修のてびき』P.14,15 「試験について」参照

【定期試験】

- 筆記試験・レポート・実技試験等の形式で、学期末の定期試験期間に実施。
筆記試験の時間割やレポートの内容は、試験期間の約2週間前に教育支援課のホームページや、1号館外の掲示板にて発表します。
- 試験日は通常授業の時間割と曜日や教室が異なる場合がありますので、
注意してください。また、定期試験期間中はできる限り他の予定は入れない
ようにしてください。なお、これとは別に、授業期間内に試験を行う科目も
ありますので、授業内での説明も必ず確認してください。

【追試験】

- 正当な理由で定期試験を欠席した場合、追試験を受験できます。
→忌引き、病気、災害、交通機関の不通、就職試験、学外実習、裁判員制度で
試験が受けられなかったものが該当
- 追試験の受験を希望する場合は、申請期間中に教育支援課での申請手続きが
必要です。また、申請の際は欠席の理由を証明する証明書類(診断書など)を
用意してください。なお、追試験に該当するか判断が付かない場合は
教育支援課に相談してください。

成績発表

『履修のてびき』
P. 16, 63, 64

- 所定の日時にB!bb'sで成績を発表します
- 一部の科目は履修登録学期と成績発表学期が異なります
必修科目 「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」
「臨地実習Ⅰ」「臨地実習Ⅱ」「臨地実習Ⅲ」

選択科目 「総合演習Ⅲ」「臨地実習Ⅳ」

栄養教諭コース 「栄養教育実習」

- 1～3年生は、B!bb'sで成績を発表します。発表時間は学部によって異なるので、発表の日程を教育支援課HPで確認しておいてください。
※『履修のてびき』P.16 参照
- 学外実習など、一部の科目は履修登録の学期と成績発表の学期が異なります。対象は『履修のてびき』P.63の表の中の表で、開講セメスターの○の横に矢印が書かれている7科目と、P.64の「栄養教育実習」です。
例:「臨地実習Ⅰ」の場合、3年生の春学期に履修登録し、4年生の秋学期に成績が発表されます。

大学からのお知らせ

『時間割』
P.5

- 文教大学湘南校舎教育支援課ホームページ

<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu/index.htm>

- B!bb'sに掲載された情報は

「**学籍番号@bunkyo.ac.jp**」に自動転送されます。

→ **スマホにアカウントの追加を！**

- 大学からのお知らせは、B!bb'sと教育支援課ホームページで行います。
各自でよく確認し、情報収集を行ってください。
- B!bb'sに掲載された情報は、大学から学生の皆さん個人に付与されたメールアドレス「**学籍番号@bunkyo.ac.jp**」に自動転送されます。
スマートフォンで「**学籍番号@bunkyo.ac.jp**」のアカウントを追加して、
メールをいつでも確認できるようにしておいてください。

集中講義について

- 『時間割冊子』の曜日・時限の欄に“集中”と書かれた科目が対象
- 複数科目を履修する場合は、日程が重複しないように履修すること
(日程が重複していてもエラーが出ないので注意！)
- 集中講義の日程は教育支援課のホームページで確認

文教大学湘南校舎教育支援課ホームページ

<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu/index.htm>

【集中講義についての注意点】

- 『時間割冊子』の曜日・時限の欄に“集中”と書かれた科目が対象です。
例：『時間割冊子』P.83の「生命倫理」「基礎生物化学」「生活と化学」など
- 集中講義を履修する場合は、各科目の日程を確認してから登録してください。
集中講義科目を複数履修する場合は、日程が重複していると受講できません。
なお、日程が重複していても、B!bb'sではエラーが出ずに登録ができてしまうので、
各自で確認の上、登録してください。
- 集中講義科目の日程は教育支援課のホームページにて公開しています。

わからないことは
教育支援課までご相談ください

教育支援課

BUNKYO UNIVERSITY

教育支援課では、授業や試験を始めとした教務事項や、学生生活全般のサポートを行っています。

わからないことがあれば教育支援課の専用フォームにてご連絡ください。